

未来の赤ちゃんを守るために



風しんの予防接種を 受けましょう！！



今回の風しん抗体検査の結果、あなたは、風しん抗体（免疫）を保有していないか、あるいは、感染予防に十分な抗体（免疫）が足りていないことが分かりました。

風しんに感染しないためには、**予防接種が必要**となります。
予防接種を希望される場合は、検査を受けた医療機関にご相談ください。ただし、予防接種法に基づかない任意の接種（有料）になります。



風しんとは？

風しんは、風しんウイルスが原因でおこる発疹を伴う感染症です。主な症状は、発疹、発熱、耳の後ろのリンパ節の腫れです。

風しんに対する抗体が低い女性が妊娠中（特に妊娠20週頃まで）風しんに感染すると、生まれてくる赤ちゃんに、難聴、心臓に異常がある、目が見えにくくなる、精神や身体の発達に遅れが生じる等の障がいが出る可能性があります。そのため、妊娠・出産を考えている女性又はそのご家族は、事前の風しん予防が大切です。

予防接種が必要な方

妊娠前の女性



接種後2か月間は避妊が必要です。
妊娠中の接種はできません。

妊娠中の女性の家族



1歳児、小学校入学前1年間の小児はMRワクチンの定期接種が受けられます。

成人男性



風しんにかかったことがない方、風しんワクチンを受けていない方、いずれも不明な方。

風しんにかかったことがない・予防接種を受けたことがない方は、接種をご検討ください。
予防接種は、麻しんも予防できる混合(MR)ワクチンを受けることをお勧めしております。